

今回の交流事業で感じたこと

和田 蒼生

ぼくたちは、十月二十五日の夜から十月二十七日の朝まで、日高市の友好都市である、大韓民国の烏山市の選手たちと交流を行ないました。

そして、この交流事業を通じて、感じたことが、三つほどあります。

一つ目は、「日高市の各学校の六年で編成されているチームについて」です。

本来なら、敵のチームにあたるメンバーと、同じチームになったことは、新鮮で楽しかったです。

ぼくのスポーツ少年団のチームは六年生がとても少ないので、六年生だけで編成されたチームは技術面が同じくらいだったり、コミュニケーションが取りやすかったことは、とても新鮮でした。そして、一番印象にのこったことは、試合中にチームメイトからぼくの名前を呼んできたことは、とても嬉しかった。

たです。

二つ目は、韓国と試合をした時に感じたことです。

韓国と試合をする前は、他国の人たちとサッカーをするのは初めてだったので、どのような試合になるのか、楽しみでした。いざ、試合が始まると、体格がぼくたちより大きい人たちが多く、足も速く、思っていたよりも上手だったのでもおどろきました。

三つ目は、二十七日の朝、韓国の選手を見おくった時に感じたことです。

見おくりの朝、お母さんの大声で目かさめました。このとき、ぼくはねぼうをしてしまいました。いそいでむかいました。ふいとうちやぐできたので、韓国の選手たちをみおくることになりました。このとき、ぼくは、もう少し、韓国の選手たちと、試合をしたかったな、と思いました。また、日高のチームもこれくらいさんするのぞ、名ざりおしいな、と思いました。

この約一ヶ月間は、とても楽しく、あつと
いうまじした。かっす。

スホーシ交流で集まり、たこと

田口 凌雅

ぼくはせんぱいにえらばれたときはそんな
にうれしくありませんでした。

リサだと思ってるのはほかにこの子とし
ゃあ、スなかよくできるかなとたか
ずかでもほかの人たちと話かけてくれたり
して仲かけ。こうふかまりました。練習のな
いところではけっこういをして楽しか
ったです。一番楽しかったのが試合の前の日に

あった。まじかントリクラブであつた歓迎
夕食会です。かんこくの人や日本人がわかれ
なく、このあかたけいといごとにかしや木
っいて話か少しづいて仲かよくなつた気が
しました。次の日の試合では1対7で負け
て試合日は1対2で一試合目よりうごきかよ
くなつて、そして人をぶさすや木はしました。か
二試合とも負けっぱなしでした。試合のあと
のまじかんで、はこい去年の時はうるさ
か、たをきいてたんだけいせんせんうるさく

なくて日本のものほうへうつるわね。たまがし
まいたね。試合のやりかたが、たかひすぎいいね
たかひ、たべす。鳥山

鳥山のとり文流でまて楽しと件をふかぬ
ふねたと思いきす

韓国との交流事業

加藤 駿汰

今回が二回目で、雰囲気はなんとなくあか
つていたけど、韓国に行った時と韓国の選手
をおかえた時で雰囲気がちよっとちがったよ
うな感じがしました。

日高市のちがうチームの六年生とこの機会
で仲良くなり、たどさんの思い出ができまし
た。その思い出の中でわすれられない思い出
が三つあります。

一つ目は、韓国の選手が来た日の歓迎会で
韓国の選手としゃべったり、おいしい物を食
べたりして、韓国の選手が日本食をおいしそ
うに食べていておバしました。

二つ目は、試合が楽しくできたことです。
負けて悔しかったけど、自分自身楽しくでき
たので良かったです。

三つ目は、お風呂に入ったことです。韓国
の選手たちといっしょにはいってみんなとも
仲良くなりました。みんなもぐったり泳いだ

りしないで、仲良くはいれました。

昨年から二年連続でこのようきちような
体験をさせていたただき、~~き~~生あずれることが
できない思い出になりました。本当にありが
とうございました。

日高市交流事業に参加して

松實 理功

僕は、この交流事業でホストファミリーとして参加しました。初めてのホストファミリーだったので最初はものすごく緊張しました。が韓国の子が家に来てからだんだん慣れていきました。

韓国語は実際には話せず、翻訳や英語を頼りにコミュニケーションを取っていました。家に帰ったときにゲームをやって仲を深めよ

うと考える、サッカーのゲームを僕と韓国の子の三人でやりました。サッカーのゲームならお互い言葉がわからなくてもなんとなくその時のリアクションでコミュニケーションを取れるから楽しくできました。

二日目の交流試合では、みんなシュートの威力が強くて、テクニクもあって翻弄されてしまいました。僕は凡ミスが、2回くらいあつて失点してしまふことが多かったのですが、パントキックでチャンスは何回か作られたり

、自分なりに好セーブがよくできて良かった
です。結果的に二試合どちらも負けたのは悔
しかったです。

試合後の銭湯では気もちよく湯に浸がるこ
とができました。韓国の子に日本の銭の入
り方を教えるどころか、入りたいところが違
ったので教えることができませんでした。そ
の後の団での歓迎会では、韓国の子が戸惑
っているのが分かりました。携帯をもってい
なかったのでも説明できず残念だったけれど

ビンゴをして盛り上がり、たのしかったです。
家に帰ったあとやはりみんなサッカー
ゲームがしたくておと遊んでいたら2時
くらいになり4時起床予定だったので2時
しかおねませんでした。

三日目は朝早くから、たのびバタバタし
ました。がギリギリ集合できました。お別れ
したあと家に帰った。ふん田気が違ひ少しさ
みしかった。この交流事業を通して貴重な
体験ができました。ありがとうございました。

スポーツ交流事業に参加して

須崎 蒼士

ぼくは、日高市スポーツ交流に2度も参加する事ができました。昨年は韓国の鳥山市へホームステイを体験し、今年は、鳥山市から日高市へ韓国の方をむかえ、ホストファミリーとして参加しました。昨年ホームステイをして、お世話になった、ジョンウホ君と、キヒョン君をホストファミリーとしてむかえました。一年ぶりに会えてとても嬉しかった。

たです。サッカーの試合では、2戦2敗で悔しい思いをしました。たがとても上手です。ばらしかったです。試合後の一緒に入ったお風呂や、開いた時間では、去年一緒に交流事業に参加した先輩たちと一緒にゲームセンターや、ドンキホーテに買い物に行ったりと、言葉が上手に伝わるなか、たが、単語や、ジェスチャーでコミュニケーションをとって仲良くなりました。とても楽しくいろいろ学べた。二泊三日でした。お別れの時はとてもさびしくなりました。

した。交流事業を通して学んだことや感じた
今後に生かし、交流で会った韓国の方達や
一緒に交流事業に参加した先輩たちとの交流
を今後も大切にしたい。たくさんお世話られたら
いいなと思いました。

韓国友好都市スポーツ交流事業に参加して

新井 公佳

私は、このスポーツ交流事業に参加して、一番楽しかったのは、サッカーの親善試合です。

試合には、負けたけど相手のコンビネーションプレーやコミュニケーションなどいろいろなことを学べたからです。

次に、一番思い出に残ったのは、歓迎夕食会です。

烏山市の選手たちが笑顔で食事をしていてとても楽しそうにしてくれました。それで、自分たちも笑顔で楽しく歓迎夕食会に参加することができました。

でも、烏山市の選手とあまりしゃべることができなかったのて、次にまたちかう国の人と交流することがあったら、積極的に自分から話しかけていきたいです。

韓国交流を終えて

高秋小学校 高橋 英幸

ぼくが、韓国との交流を終えて、心に残ったことが二つあります。

一つ目は、ホームステイの子や、ジャックズの友達みんなといっしょに食事したり、クレープゲームとかで遊んだことです。言葉は違いますが、ほんやく機能や、いろいろなくふうをしながら、ちょっととしたトラブルもあつたけれど、みんないっしょにたのしめました。

主れた。

二つ目は、交流試合です。僕は途中でけがをしてしまったけれども、せいっぱい戦えた。でも、さすが、それでも負けてしまった。僕はこの韓国交流のおかげで、いろいろがえりながら学べた気がしました。この経験や、学んだことをこれから大切にしていきたいと思います。

そして、このように機会をつくった人たち、かんしゃさん、コーチ、保護者の皆様、そ

の他の関係者の皆様 本当に、ありがとうございました。

スポーツ交流

江畑 瑛陽

ぼくははじめ外国に興味がありませんでした。今回の国際交流で韓国の子と触れ合っ
ても楽しく、良かったことが二つあります。
一つ目は言葉が通じなくても分かり合える
という事です。身振り手振りで関あったり、
翻訳アプリを使って話していると、ちよつと
意味がわからなくても仲良くなれます。言葉
を勉強したらのもつといろいろな国の人と仲

良くなれます。そうするとぼくの見ええける
世界がもっともつと変わりました。
二つ目の理由は試合の事です。言葉は通じ
なくてもルールは同じなので楽しくサッカー
できました。この戦いとも負けました。悲し
かったけどスピードも速くとても上手でびっ
くりしました。試合の後の温泉では韓国の子
と一緒に入り、会話もできとても楽しか
かったです。サッカーする前よりは仲良くなれて
良かったです。

その後の歓迎会やお泊りでは、はすかしが
、こしま、こ仲良くなれなかつたけれど、最
後の目送りの時はなんだか悲しい思いがあり
ました。このようなステキな経験ができてラ
れしりです。かんとく、コーチ市役所の方、
韓国のみんなありがとうございました。

高萩小学校

和知 慧鍊

韓国交流にむけて、たくさん勉強したりあ
いさつ、自己紹介、数、いろいろなことを韓
国で覚えるのは大変でした。

けれど、実際は思ってたよりもなかなかう
まくいえなかつたです。

「お食事、みんなでするとき、韓国人と自己紹介
でしっばいしちゃたけれど、自分の名前をどう
にか、つたえられてよかったです。」

「食事が終わり、島山市の人と「さようなら」

のあいさつができてうれしかったです。

サッカーの試合のときに島山市の人とぶつ
かっちゃて、おたがい、「ごめんね」とあやま
ったのでよかったです。

ホームステイの島山市の人とたくさんしゃ
べれたのでとてもたのしかったです。

温泉のときのルールを島山市の子に教えて
自分のいつていることが、つうじてよかったで
す。

朝早く起きて市役所のところで、「2日間あ

りがとう。」「ディズニールンドたのしんでて
ね。」「といッてもう島山市の子ともうおわか
れかさびしいな」とたのそこらかんじました
。

「友好都市と交流して」

大越

初一日

ぼくは友好都市との交流をしていろいろな
と友達になりいろんな物をもっているこ
こを学ばしてもらいました。

一つは食事会でなかよくなつた友達がいるこ
とです。

このきかくがなければいろんなことが学ぶ大
切なことを知れたかつたがもしれません。

二つ目は二日目にやつたサッカーも思いでに

残っています。

韓国のろはやつぱりよせやプレッシャーが早
くてすづかつたです。

三つ目はおひろで話しさらに友だちが深ま
つたことです。

おひろなどで楽しくおひろに入れたので友だ
ちが深まりました。

このように楽しくなかよくできたのはこれに
関つてくれたみなさんのおかげです。

これから聞つてくれた人にかんしゃをもち

い
は
す。
。

友好都市スポーツ交流事業を終えて

竹野谷 大翔

ぼくは韓国とのサッカー交流でたくさんの方とをまなべました。他の学校の子や韓国のことも仲よくなりました。

韓国人の人と会ったときは韓国語教室でなかったアニョハセヨ、カムサハムニダなどの韓国語をたくさんつかってみました。

2日めの試合のときは、すごくきんちょうして試合めはボロまけたんだけど2試合目はきんちょうせずにおちついて試合ができていい試合ができました。

試合をやっているときに韓国の子のボールをとりうとしにいってたら韓国の子はとてもあしがはやりいと思っただし、フイカルもつよいこがおあいと思っただ。そしておんせんのときには、あまり韓国の子としやべることができなかったけど次の日のおみぐりのときは韓国語でアニョニョンカセヨ、と言っておくることができました。

韓国交流を通して

千葉 葵

僕は鳥山市選手団たちと交流して思ったことや感じたことがあります。

まず、高麗川カントリークラブで選手たちと交流したときに感じたことは、不安感と言語のかべです。韓国の人と仲良くしたいのに何を話せばいいのか、相手は韓国の人だ。ということをいしきしてしまい、これから仲良くなれるのかな。と、不安感を抱きました。

でも、韓国の選手たちも同じ気持ちで、声をかけてくれる人もいて、すっかり不安はなくなり、仲良くなることができました。

試合当日になると、人工芝のキレイなグラウンドに行くと、青いユニフォームを身につけた「やるぞ」という気持ちかどんどん高まっています。対する韓国は、赤いユニフォームに身をつつみ、昨日の雰囲気とは一転、みんな真剣な顔をして準備をしていました。みんなで円陣を組んで、国際戦のぞみました。

た。自分は二試合出場して、全ても出し切り
しました。

試合が終わったあと、みんなで天然温泉で
花鳥風月に行きました。つかれているときに
あったかいお湯につかれて、とても気持ちよ
かったです。

さいごに、この国際交流を通して感じたこ
とは、住んでいる国が遠くても、一緒に心を
一つにすることはできる。ということですよ。
スポーツ交流日高代表になれて、とてもいい

思い出ができました。

감사합니다

日韓交流の思い出

中村 栄梨都

初めて韓国の選手を見たときに、とてもみんな体が大きくておどろきました。

初めて話をしたときに、なるべく、ぼくたちに伝わるように必死に話していて、優しいなと思いました。高麗川カントリーで食事をしたときに、「おいしい？」と聞いて、「おいしいよ」と言っていてうれしかったです。さらに

韓国の選手みんなに話しかけました。そして

みんな笑顔で話してくれてとてもうれしかったです。なかよくなりました。そして好きな食べ物やサッカー選手などいろいろな質問をしました。初めて聞いたものなどもありました。と韓国のことを知りました。

そして試合は、韓国の選手たちのウォーミングアップを見ると、シュートがすごく強かったです。パス回しがはやくておどろいたし、緊張しました。試合が初めて最初から韓国選手たちは、プレッシャーがはやくてうまく

ボールが扱かえませんでした。も、と練習し
な^ぎやと思いました。後半では、韓国のボー
ルのはやさに慣れてきていいスタートで試合
に入れました。そして、味方からいいパスを
受けて点を決めました。そのとき、見ていた
みんながよろこんでくれてぼくはうれしかっ
たです。2試合目も点を決めてよか、たし
いい思い出になりました。2試合ともまけち
ゃたけ^じいい経験になりました。お風呂では
とても気持ちよくて、疲れが取れました。

このような経験をできてよか、たし、思い
出になりました。ありがとうございました。

高平川小学校 山本 吏馬

最初かんこくと戦うと聞いたときすごくワクワクして早く試合したいと思いました。最初の結団式の時にすごい数のえらい人が来て、日かん交流の大切さが分かりました。かんこく語の講座の時に、英語よりも難しく、本当に伝わるのになて不安になりました。そして、夕食会の時、ジエスナリーとかもしながら伝わったので、良かったと思います。たえて、試合の日めちゃくちゃきんちようしていたけど、試合に入るときんちようせず、2アシストをきたりフリーショットやコーナーキックで自分のプレーを出したので良かったです。3日間と短い間でしたが、さようならをするともなるととても悲しかったです。子供の時にこんな良い経験ができて良かったです。

交流事業の思い出

柳田 基

最初は食事会ではじめての韓国の子たちとの交流でちょっときんちょうしたけどみんな明るいきでほっとしました。

みんなでご飯を食べて、すごく美味しかったです。一緒にご飯を食べた鳥山市のみんなは、ご飯をたくさん食べていました。

二日目は試合本番でした。かり体調を整えて会場に行きました。試合は午後からだったから、

午前はチームで練習していました。練習でもチームで分かち合っていた試合をやりました。その中でも体を動かしてよかったです。

次は試合でスターメン発表の時間がすごくみんなよくしました。発表が終わって、フイールドに、行進して入場しました。そして、礼をして、試合のハイッスルが鳴りました。1試合目は7対1という結果で負けてしまった。2試合目も負けちゃいました。けど鳥山市のみんなと分かってよかったです。シユートなびキッ

ウカが強くてびっくりしました。

三日月は朝早くに市役所に集合してお別れの会をしました。みんなやさしくとおもってくて良かったです。この交流で学んだこともふだんの生活やチームにもどってから活かしたいです。

韓国交流事業を体験して

鶴巻 和玖

最初に事前研修会の時に韓国の烏山市はどこにあるのかと、どういう所なのかという説明がありました。烏山市は高いビルがたぐさ人ある都会だそうびす。人口は約二十四万人もいます。日高市と比べたら全然違います。選手達はどんな人が来るのか、言葉が通じるのか、心配もありましたがドキドキワクワクタもありました。

初日の歓迎会の時、烏山市の選手とはスマホのほんやくアプロで会話が出来ました。国が違っても、言葉が通じなくても何となく言いたい事を理解する事が出来てうれしかったびす。少し仲良くなれた感じがしました。

いよいよ二日目のサッカー親善試合です。どんな試合になるのかとても楽しみです。試合が始まるも、烏山市の選手のキック力が強くて、寄せるのが早くて、圧倒されてしまいました。キーパーが地面からボールをける

時にバントやツクぐらい強くてびっくりました。ぼくもやツク力をつけてあのぐらい強くけるようになったと思います。試合の結果は、残念な結果になりました。色々勉強になり、楽しい試合が出来ました。

韓国交流事業を体験してみても良かった事です。二つ目は韓国語を少し覚えられた事です。三つ目はサッカーの色々な事が勉強

になった事です。四つ目は鳥山市の選手と仲良くなれた事です。なかなか出来ない経験が出来てとてもうれしかったです。ありがとうございました。カハサハムニダ。

楽しかったスポーツ交流事業

二階堂

真実

ほくは、韓国とのスポーツ交流事業でホストフミリーになった。知って不安でいっぱいだった。なぜかというところ韓国語はじやべれないし、仲良くなれるか心配だったからです。歓迎夕食会の時でさえ、緊張して覚えた韓国語を使えませんでした。もしかしたら、ほくの家に泊まるソヌくん、シユルくんも緊張していたのかもしれない。となり同士で座

っていたのに一言も話さないまま夕食会が終わってしまいました。この先どうなるんだろう。つとさらに不安になりました。家では勇気を出して韓国語で話してみました。二人はアフリカを使って答えくれました。コミュニケーションがとれてほっとしました。ソヌくん、シユルくんと一緒にこまや福笑い、けん玉をやりました。韓国語は使えなかった。たのび身振り手振りで交流しました。それでも十分楽しめました。ソヌくんはけん玉をシユルくんはこ

まをとても気に入ってくれました。話すこと
がだんだん増えて仲が深まったなと感じまし
た。一緒にぬたり、庭でサッカーをしたり、
花火をしたりしてさらに関係が深まりお客様
ではなく、友達になりました。長いと思って
いた二泊三日がすごく短く感じました。二人
と別れるのはとてもさびしくてもっと一緒に
いたいと思いますでしたが別れる時が来てしま
いました。二人は韓国にもぶっこしまっただけ
ぼくたち三人の友情は切れません。

スポーツ交流事業で学んだことは、言葉が
通じなくてもジェスチャーを使ってコミュニ
ケーションがとれるということでした。コミュニ
ケーションをとることで心が通い、相手を
もっと知りたいと行動が前向きに変化すると
いうことも知りました。スポーツ交流事業で
見につけたコミュニケーションのとり方をこ
れからの生活にも生かし、ぼくの世界を広げ
ていきたいです。

新堀 真子

私が韓国交流事業で楽しかったことは、試合です。

なぜかというところ、試合が始まる前は緊張していたけれど、いざ始まると、皆と一緒に応援したり、プレーするうちに、だんだんと楽しくなっていたからです。

試合の結果としては、日本チームが負けてしまったけれど、力を発揮できたし、とても楽しかった。なので良かったなと思います。

今回の交流事業をきっかけに、更に韓国に興味を持つことができました。実際に交流できたことは、私にとって貴重な経験となりました。サッカーについて学んだ技術を忘れずに、これから自分チームで頑張りたいと思います。

そして、最後に入ったサイボクの温泉も、女子三人でのんびり楽しむことができて、とても良かったです。

第15回友好都市スポーツ交流について

根岸 椿沙

韓国の人たちと交流していい経験になりました。
した。例えば韓国語が学べたり、サッカーが
できたりしたことです。韓国語を学んだりと
話すのがむすかしくてあまり話しかけたりで
きなかったです。でも、少ししゃべれるよう
になつたのでまた韓国の人と会えるときがあ
たら話しかけたいと思います。サッカーで
は、やっぱりとても強いなと思います。でも
も楽しかったです。初めてうかう国の人とあ
たのびました。うしろも強かったです。
のび負けたり、たりと点が入られてうれし
かったです。また島山市の人たちと一緒に
ほろを食べたり、サッカーの試合をしたいと
思いました。

スポーツ交流事業を体験して

野口 稜太

ぼくがスポーツ交流事業を体験して一番心に残った所は、韓国⁷の鳥山市の人たちと日本で親善試合をした所です。

まず、ぼくが日高市の代表に選ばれて、結団式に参加した時には、とても緊張したけど無事に終えられたよかったです。練習の時は自分⁷が日高市の代表だ！という緊張感を

持ちながら最初の練習から最後の練習まで、ごきました。韓国語の勉強会の一日目の時は韓国語は、難しい発言の仕方や覚えてるりが大変な言葉がたくさんあって、とても難しいかなと思っ。こいましたか、二日目には、少しだけ、難しい発言は覚えるのが大変そうだな、文をしゃべれるようになりました。

韓国⁷の人たちが来日した日のお食事の時は、韓国の人たちと仲良くなれるかなと思っ。こいましたか、スマートフォン⁷の通訳機が、

通訳の人を通して少し韓国の人たちと会話できてもものすごく安バしました。

試合当日、ぼくは、いままさに体験した時の試合の雰囲気とちがく、すごく緊張とドキドキが止まりませんでしたが代表のメンバーとアップをしたらドキドキ感がほぼなくなりました。いよいよ試合が始まる時、プロサッカー選手のような入場のはかたが入ったのも、ものすごくうれしかった。試合が始まりました。みんなまたドキドキしましたが、いつも

よりも集中して試合をプレイできました。

最終的には、二試合とも負けました。たけどぼくは、全力でプレイをしきったので満足しました。試合が終了した後、バスに乗って、温泉にいき、その時は、韓国の人たちと日高の人たちは別々に行動していたけど、皆で入ったお風呂は、とても楽しかった。次の日のお別れは、悲しかったけど、いい思い出になりました。また会えた方がいいなと思います。貴重な体験になりました。ありがとうございました。

日韓^{ハル}交流の思いで

中村 郁斗

ぼくは、日韓交流を通していろいろな思いで
を作りました。

1つ目夕食会

頃くは、初めてある韓国の選手がすごくを
んちようしてなにも話せませんでした。

けで通訳の先生がいたのではなせるようにな
りました。ちちと仲が良くなつたと思ひま
す。

2つ目夜の大はしや

校にふとしの上になつたし、んかみんが
かこわぎました。すぐたのしかつたけど、すぐ
くねむかつたです。

3つ目あそびは

あそびあそびしなおいなかつたと言つて
いました。みんなはなにか好きなのと聞いた
ら全部と言つていました。じゃあ一斉おいし
かつたのはなしですがときいたところ汁と言
つていました。

4 7 日 親善試合

2 試合やり玉した、ぼくはさうして
あまりでよなかつたけど試合に出れました。

けっかは2 試合とも負けてしまいました、
かしかつたです。

5 7 日 歓迎会

歓迎会では食事したりビンゴなどしま
した。ビンゴは強かよかつたのかすいにビン
ゴになつていました。ぼくは最後から2 番目で
した。

会えるかわかないけどまたいつか会いた
いです。

①

韓国交流スポーツ事業の感想

吉成集人

第十五回友好都市スポーツ交流事業でぼくは、キヤプテンとして認められました。

ぼく自身は初つのキヤプテンで始めはみんなをまとめられるかなーとか言う事聞いてくれるかなー色々と思いました。けど練習でみんなに早く集つまってーと言うとみんなは走って集つまってくれたからそのきんきょう感はほとんどなくなりました。

みんなは、言、たニとをわってくれるからキヤプテンとしてみんなのためにがんばりたいと思います練習で三二試合でスコートをはずしこもみんなでドンマイやほしいよの声をけをしてはげましな一回リベンジしてスコートンが人々はみんなをアイスツールの声がけもあり自分もみんななより声を出して全員が声を出せるようになりました。

韓国の人々が来た時にみんなの前に出ておみやげをもつらたり名前を言ったりして自信を

②

つけて交流事業の時に名前を韓国人に聞かれ
て名前を言っ
てあいても名前を言
いあ
て名
前を覚えてました。

1日は、夜に一諸に遊んだりゲームをや
たり温泉に入ったりしてある時にみんなで
いかりあつてとても楽しかったです。2日目
は、試合の日になり朝に韓国人と一諸に朝練
をしてとてもうまかったから正直勝てるか否
かでした。

試合の時間なつた時に韓国人とあく手をし
て家に一諸にとま
つた人に背中をたたかれ自
信をつけてもらいました。試合のいしにキッ
クオツしたし、う感じ全員が走りだしてびっ
くりしました。でもそれほど勝ちたいと思
う気持ちがあつたわりました。始めは負け
てたけどだんだん動きになれてきて、点あつ
取れていて良かったけど、結果は負けしま
つたけど色々と学んだ気がして良かったです。
最後韓国の人たちが帰る時とても早い日
だと感じました。韓国のみなさんカムスハム